第一回定例議会 代表質問

本年二月に開会された第一回定例議会で、会派を代表して区長に質問いたしました。まず、一般会計当初予算案が九百三十七億六千万余の平成三十年度の予算編成について、特別区税収入に直接影響を与える、人口の将来展望や都市開発などを加味した、未来に向けての持続可能な行財政運営を提言いたしました。子育て支援については、待機児童対策に関わる保育園の充足率を確認したうえで、将来展望を踏まえた待機児童ゼロに向けた取り組みを要望するとともに、児童虐待などに対する取り組みとしての新規事業「要支援家庭ショートステイ事業」の方向性を提言いたしました。

代表質問

高齢者福祉の観点では、高齢者、特に一人暮らしの方の見守りを重要な課題ととらえ、日常の暮らしぶりを確認できるサービスなどの導入を検討するよう提言し、また介護予防事業の更なる充実も要望いたしました。障がい者福祉では、新庁舎に開設される予定の「基幹相談支援センター」において、事業所や医療機関などとのネットワークを構築し、身近な窓口である、地域の相談支援事業所も含めた相談支援体制の強化を提言いたしました。

幡ヶ谷２丁目住宅

まちづくりでは、前面でお伝えした「代々木2、3丁目公務員住宅跡地」の質問のほか、電柱・電線の地中化の更なる整備を、「新国立競技場」周辺とともに、木造住宅密集地域での取り組みについても要望いたしました。また、千駄ヶ谷地区での自転車専用レーンの整備について、運転マナーの向上に向けた取り組みを提言し、また、既存の原宿駅舎の保存をオリンピック・パラリンピックのレガシーとするべく、ＪＲとの協議など区も積極的に取り組むべきと要望いたしました。

防災については、新庁舎開設に合わせて、現在の「渋谷ヒカリエ」から移転する防災センターの機能と、職員の訓練体制の強化を提言し、切迫する巨大地震への対策を強く要望いたしました。

消防団員として防災訓練に参加

今回は自民党議員団の幹事長として質問をいたしましたが、定例議会中の予算特別委員会でも福祉保健委員として、区民福祉の充実のため、三十年度予算について審議に携わっております。

これからも、幹事長として、また議会運営委員長としての経験をいかして、渋谷区の未来に向けた取り組みを踏まえて、身近な地域での課題に対しても全力で取り組んでまいります。

DRAGON NEWS
ご意見・ご要望は、お気軽に斎藤竜一事務所まで
〒151-0053 東京都渋谷区代々木１－３０－３　Ｔ ０３－５３３３－６７３５　Ｆ ０３－５３３３－６７８２